

令和4年度 第3回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和4年9月29日(木)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 多目的ホールC
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 4名

出席委員の氏名 ・岡 嘉彦
・永沼 興子
・仁志 正樹
・木村 聡

局側出席者 ・阿部 啓吉(代表取締役)
・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日9/7と9/9)
 - (1) 局制作番組について
「トークバラエティーすぱすぱ」
 - (2) 市民制作番組について
「パワフルレディ GO!GO!」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「トークバラエティーすばすば」

ひろむと新井優也がグルメ、温泉、サウナ等の話題をスパッと切る！痛快トークバラエティー。

① 事前意見回答報告

岡委員長

「よどみなく楽しそうに話をしている30分だった。どんどん良い所を紹介したら良いです。話題の広がりや岩見沢の良さもPR出来ますね。リスナーへの語りかけ、投げかけがある話し方も必要ではないでしょうかと思いますが、流された曲はいい感じです。」

仁志委員

「三人の息の合う掛け合いは馴染みました。「岩見沢の足りないもの」タイトル興味深く聴きました。スタバの添付店舗希望+季節のお土産の種類+松屋+サウナの聖地をメープル以外にも欲しい+（サウナ専用のドームが在れば）+北湯沢的広い温泉多泉種の浴槽等嬉しい施設キタオンとグリーンランドのコラボが素晴らしい！！（3年ぶりのジョインアライブの盛況）10月5日午後10時、フジTV「親愛なる僕に殺意を込めて」荒井君が出演する？「いよいよ、メジャーに！！二刀流だね！！！」なかなか聞けない「放課後本音トーク」癖になるかも！！」

木村委員

「番組のオープニングを聴くことができず申し訳ありません。メープルロッジのサウナ、土産物、三船の焼き鳥、ジョインアライブなど話題が次から次へと展開しそのジェットコースター喋りのスピードについていけませんでした。若いころ聞いた深夜放送を思い出しましたが、深夜放送の名物コーナー企画のような面白い仕掛けがあると話し手の

魅力がもっとリスナーに伝わるのではないかと思います。」

北口委員

「3人の楽しい雰囲気が伝わります。これからもスパッと
する内容の番組を期待しています。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。肩の凝らない番組で良いと思
います。」

仁志委員

「言い過ぎる点もあるので、表現の方法に注意した方が良
いと思いますが面白い番組です。」

スタッフ松井

「大学生も参加しているので若い感覚も必要だと思います
し、話を抑えてくれたりもしています。」

岡委員長

「話が弾むのはパーソナリティーは楽しいと思うが、リス
ナーはどうなのだろうかと思う時がありますが、良い番組
だと思います。」

スタッフ松井

「リスナーに語りかけることも必要だと思うので、今後取
り入れていきたいと思っています。」

岡委員長

「他になければ次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「パワフルレディ GO! GO!」

主婦を中心に元気な家族を応援する番組。番組を聴いて一緒に知識を得たり、市民への情報発信の場としていけるよう様々なゲストを招いて放送している。

① 事前意見回答報告

永沼委員

「町会連合会に女性部が無いと言っていました、女性の会長が8人もいる事に驚きました。男女共同参画社会とされている時代に、考えても良いのではないかと思いました。」

仁志委員

「毎回パワフルな経験豊富なお三方のトークは聴き応えのあるお話に毎回感心しています。今回の話題は女性の社会活動に関する調査の中で、岩見沢市議会の「女性市議が不在」、市内町会長の「212名中8名」しか女性が居ないお話は、あまり聞かない分野の話題に流石と驚きながら聞きました。差別とかの次元ではなく「諸事情」から社会活動に出にくい環境が沢山在るようで、「経験不足によるリーダーシツプ」+「家事との両立の難しさ」+「家庭内での協力が得づらい」等の発言に頷きました。個々の活動を支える環境整備が進むことを、改めて家庭内から意識改革を行動に移そうと心に決めました。良い番組ですね!!次回も期待しています!!」

北口委員

「岩見沢市の市議会議員や町内会の役員などに女性が少ない。という話を取り上げていました。一般的に言われる話題ではありますが、女性がもっと活躍すべきという問いかけなのか、女性がやりづらい環境にあるという訴えなのか、自分達を変えていきたいという表明なのか、何を番組で伝えたいのかの、まとめがよくわかりませんでした。」

加藤委員

「仕事で中盤からの拝聴となってしまいました。途中から聴いたリスナー意見としては、正直内容がわからない回でした。といたしますのも、パーソナリティーの皆さんが、食べ物の昔話しかしておらず当日番組テーマが途中から聴いた人からすると分からない感じがしました。」

② 審議

岡委員長

「パーソナリティー3名はレギュラーですか？」

スタッフ松井

「はい、そうです。」

永沼委員

「聴きやすくなりましたね。」

仁志委員

「目線が違うので良いお話だと思いました。」

木村委員

「街のイベントもやっている方ですよ。政治的な関係の話は一方的になるので、注意して話された方が良いと思います。」

岡委員長

「毎回女性の活躍について放送しているのですか？」

スタッフ松井

「そればかりでなく、イベントの情報なども放送しています。」

岡委員長

「バランスが取れた内容であればよいと思います。」

(3) その他の意見について

木村委員

「9月1日は防災の日でしたが、NHKアナウンサーが命を守る呼びかけを公開しました。少し長いですが、ご紹介します。

[NHK アナウンサーの命を守る“防災の呼びかけ” - NHK](#)

言葉で命を守ることはできないか？このテーマに、私たち全国のNHKアナウンサーは向き合ってきました。きっかけは、東日本大震災です。あの日、なぜ多くの方々の命が失われてしまったのか。もっと多くの命を救うことはできなかったのか。震災以降、私たちはこの思いを胸に調査や検討を重ねてきました。そうしてできたのが、NHKアナウンサーの「命を守る呼びかけ」です。この取り組みの支えとなったのが、津波で家族を失った方々の証言や水害で被災した方々との対話です。「あの時声をかけていれば、息子を救えたかもしれない」「避難の呼びかけで、すんでのところ助かった」。調査や検討で見えてきたのは、身近な人の声が避難を後押しする力になるということです。ご家族、ご近所、学校や職場、行政や消防。地域を知るから、顔が見えるから、そして何より、助かってほしいという思いが強いからこそ、言葉が届くのです。ここに公開するのは私たちが紡いだ言葉の一端ですが、大切な人の命を守る呼びかけとしてご活用下さい。災害から命を守るのは、皆さん一人ひとりの言葉です。FMはまなすでもこれを防災放送のぜひ参考にしてください。」

岡委員長

「他に意見が無ければこれで終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「防災どーする」「防災・防犯インフォメーション」
市民に役立つ番組作りをしていくよう指導した。

(2) 市民制作番組

「Classic Rock Radi」
幅広いリスナーが聴ける番組作りをお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和4年10月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。